

ゲンバイトンボ

Platycnemis sasakii

兵庫県：B

環境省：準絶滅危惧（NT）

種の概要

腹長30～33mm、後翅長19～23mm程度。♂は中・後肢の脛節が軍配状になっており他種との識別は容易であるが、♀はモノサシトンボに似ている。砂泥底の抽水植物や沈水植物が繁茂する河川中流域などに生息する。幼虫はツルヨシの根際の泥の中などに潜っている。成虫は5月～8月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、姫路市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、川西市、小野市、三田市、加西市、丹波篠山市、丹波市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、市川町、福崎町、神河町、上郡町、佐用町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○		○		

特記事項

生息地の河川で浚渫が行われた事例が複数あって、そこでは個体数が激減した。また既産地での発見個体数も減少傾向がはっきりしている。アオハダトンボと共存するケースが多く、アオハダトンボと同様の原因によって減少する。

保護上の留意点

浚渫を行うとき、生息地全流域を一斉に行わず、例えば半分ずつを交互に行うなど待避場所を確保する。